

第2回多言語競演レシテーション大会

本学における外国語教育活動の一部として、多言語競演レシテーション大会を今年も開催した。学生が本学で学習中の外国語(および留学生の日本語)で文学作品等の一節を暗唱し、パフォーマンスを競い合う大会で、聴衆による投票、および審査委員会で優秀者を選考し表彰した。学科/専攻の中、あるいはクラスの中で選抜され、言語ごとに決められた数の代表者(代表チーム)が出場した。

I. 第2回多言語競演レシテーション大会実施要領概要

日時 10月31日(土)10:00-13:00(大学祭期間中)

会場:愛知県立大学長久手キャンパス S201(新講義棟2階)

主催:愛知県立大学高等言語教育研究所

暗唱する者は、その言語を今年度本学で授業(全学共通および外国語学部専門科目)を受講し学習している学生。

第1部:学習1年目(当該言語圏に3ヶ月以上滞在したことがないこと)。

第2部:学習2年目以上。

1件につき暗唱時間3分(移動・準備・かたづけ含めて5分)。その間、関連した絵や写真を投影する。効果音・BG等を付けるのも可。規定時間内で2名以上が一つの作品を演じる場合1件として参加可。英語は、学年にかかわらず第2部で3件、留学生の日本語も第2部で1件、その他の言語は、1部と2部それぞれ一言語1件を選抜。聴衆には、事前にその和訳と背景など書いたものを印刷物で配布しておく。映像投影・印刷物準備等を暗唱者と共同で行なう支援スタッフは、本学学生なら資格を問わない。本学授業担当教員の指導を受けてもよい。映像投影・印刷物準備は、出場者と支援スタッフで行なう。審査は、暗唱度、表現力、映像・印刷物の準備度、仲間力等を総合的に審査。優秀者に賞状と副賞の授与、参加者には、参加賞を授与する予定。

言語別窓口担当教員(学生には、6月末までに当該教員に出場希望申し出をしてもらう)
英語:英米学科/英文学科は、森田久司(英米学科)、国際関係学科及び全学共通・外国語科目英語受講者は、エドガー・ライト・ポープ、鵜殿悦子(国際関係学科)、フランス語:石野好一(フランス語圏専攻)、スペイン語:糸魚川美樹(スペイン語圏専攻)、ドイツ語:桜井健(ドイツ語圏専攻)、中国語:竹越孝(中国学科)、ポルトガル語:高阪香津美(国際関係学科)、カタロニア語:糸魚川美樹(スペイン語圏専攻)、日本語:東弘子(国際関係学科)、ロシア語:加藤史朗(国際関係学科)、朝鮮語・タイ語・インドネシア語:竹越孝(中国学科)、デンマーク語:桜井健(ドイツ語圏専攻)、イタリア語・古典語・その他:堀田英夫(スペイン語圏専攻)

II. プログラム

第2回 多言語競演レシテーション大会

愛知県立大学で学べる様々な言語による文学作品の一節などの暗唱大会です。背景の映像を投影し、日本語訳や解説も配布されます。聴衆の方にも、優秀賞の選考に加わっていただきます。それぞれの言語の独特の音とリズムに耳を傾けてみませんか。

日時:2009年10月31日(土) 10:00-13:00 (大学祭期間中)

場所:愛知県立大学 長久手キャンパス S201 (新講義棟2階)

各部門内の順序は公平を期すため当日抽選で決定。下に掲げたのは申込順

第1部 (学習1年目、当該言語圏に3ヶ月以上滞在したことがないこと)

中国語: 浅原まど香、丹羽健太 [中国学科1年]

『論語』

フランス語: 嶋田綾佳、前川英香、八代歩、武田美穂、水谷奈央 [フランス語圏専攻1年]

La Rose de Versailles (ベルサイユのばら)

スペイン語: 古舘美南 [スペイン語圏専攻1年]

Juan Ramón Jiménez “Platero y yo” (フアン・ラモン・ヒメネス『プラテロと私』)

カタロニア語: 高橋改太 [スペイン学科4年]

Joan Maragall “Sardana” (ジュアン・マラガイ『サルダーナ』)

ドイツ語: 濱端安希子、山本明範 [ドイツ語圏専攻1年]

Heinrich Heine “Loreley” (ハインリッヒ・ハイネ「ローレライ」)

ポルトガル語: 岡崎まどか [英米学科4年]

“Um aspecto de choque cultural entre brasileiros e japoneses: os gestos” (ブラジル人と日本人間のカルチャーショックの一面:身振り)

第2部 (学習歴2年目以上)

中国語: 松本悠梨 [中国学科3年]

魯迅『故郷』

フランス語: 津田ゆかり、山本愛花 [フランス学科4年]

Le Fantôme de l'Opéra (オペラ座の怪人)

日本語: 顧 維蕾 [教育発達学科1年]

『七五三 なぜ、この歳でお祝いするのか』

スペイン語: 平見成子 [スペイン学科2年生]

Juan Ramón Jiménez “Platero y yo” (フアン・ラモン・ヒメネス『プラテロと私』)

英語： 浅野美樹、大井笑理、尾花千尋 [英米学科1年]

“The Importance of Being Ernest” by Oscar Wilde (オスカー・ワイルド「真面目が肝心」)

ドイツ語： 中山真里、山田佳菜絵、山田碧、渡辺真美 [ドイツ学科3年]

Loriot (Vicco von Bülow) “Das Frühstücksei” (ロリオット「卵」)

英語： 神谷愛、松永美保、森本健 [国際関係学科1年] 金元龍輝 [中国学科3年]

Edgar Allan Poe “The Bells”(エドガー・アラン・ポー「鐘のさまざま」)

ロシア語： 長谷川貴紀 [国文学科3年]

Сергей Александрович ЕСЕНИН “Той ты, Русь, моя родная” (エセーニン「おお、ルーシ、私の故郷」)

ポルトガル語： 木場悠 [スペイン学科3年] 蔵ヶ入利久 [英米学科4年] 筒井由佳 [英文学科2年] 宮田小百合 [ドイツ学科2年]

“Tuco aparece em cena com uma câmera nas mãos” (トゥコがカメラを手に現場に現れる)

英語： 原田未彩 [英文学科4年]

William Wordsworth “The Daffodils” and William Shakespeare “Sonnet No.18” (W.ワーズワス「水仙」と W.シェイクスピア「ソネット第 18 番」)

III. 結果報告

第2回 多言語競演レシテーション大会の結果

10月31日開催の多言語競演レシテーション大会には多数参加いただきありがとうございました。会場からの投票で最優秀賞と優秀賞を選んでいただきました。

第1部(学習歴1年目)

最優秀賞

中国語: 浅原まど香、丹羽健太 [中国学科1年] 『論語』

優秀賞

スペイン語: 古舘美南 [スペイン語圏専攻1年]
Juan Ramón Jiménez “Platero y yo” (フアン・ラモン・ヒメネス『プラテロと私』)

第2部(学習歴2年目以上)

最優秀賞

英語: 神谷愛、松永美保、森本健 [国際関係学科1年] 金元龍輝 [中国学科3年] Edgar Allan Poe “The Bells” (エドガー・アラン・ポー「鐘のさまざま」)

優秀賞

中国語: 松本悠梨 [中国学科3年] 魯迅『故郷』

審査委員会により、以下の三つの賞の受賞者が選考されました。

学長賞

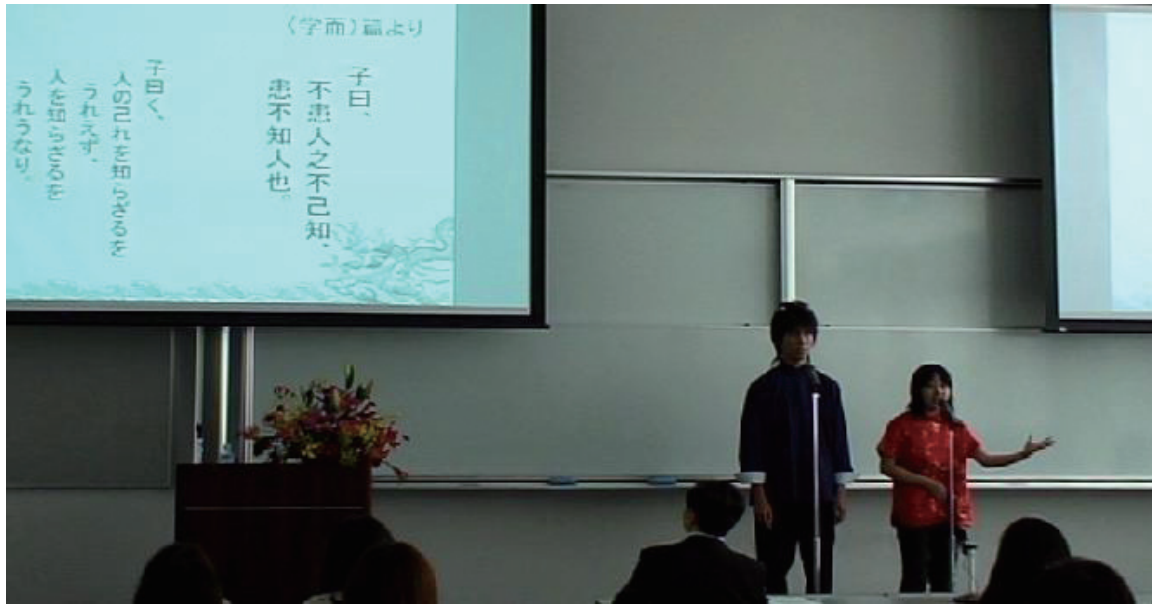
ドイツ語: 中山真里、山田佳菜絵、山田碧、渡辺真美 [ドイツ学科3年]
Loriot (Vicco von Bülow) “Das Frühstücksei” (ロリオット「卵」)

外国語学部長賞

英語: 浅野美樹、大井笑理、尾花千尋 [英米学科1年]
“The Importance of Being Ernest” by Oscar Wilde (オスカー・ワイルド「真面目が肝心」)

高等言語教育研究所長賞

フランス語: 嶋田綾佳、前川英香、八代歩、武田美穂、水谷奈央 [フランス語圏専攻1年]
La Rose de Versailles (ベルサイユのばら)



第1部 最優秀賞

中国語：浅原まど香、丹羽健太 [中国学科1年] 『論語』



第2部 最優秀賞

英語：神谷愛、松永美保、森本健 [国際関係学科1年] 金元龍輝 [中国学科3年] Edgar Allan Poe “The Bells” (エドガー・アラン・ポー「鐘のさまざま」)

講演会共催

- ◇ 「異文化コミュニケーションー人と人をつなぐもの Music is Good Medicine」
Jake Shimabukuro (ジェイク・シマブクロ氏 ウクレレ奏者)

- ◇ “What kind of force? On conceptual metaphors of emotion and passion in 17th to 20th century English”
Heli Tissari (ヘリ・ティッサリ博士、フィンランド共和国ヘルシンキ大学
VARIENG 研究所コーディネーター兼研究員)

- ◇ “The interplay between grammaticalization and lexicalization”
Ilse Wischer
(イルゼ・ヴィッシャー博士、ドイツ連邦共和国ポツダム大学員外教授)